

鳥取大学大学院医学系研究科
医学専攻博士課程学生募集要項

平成30年10月入学
平成31年4月入学（第1回、第2回）

一 般 入 試

社 会 人 特 別 入 試

鳥 取 大 学

鳥取大学大学院医学系研究科医学専攻博士課程教育に関する三つの基本方針

I. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

医学専攻博士課程では、学生が医学系研究科における学修と経験を通じて次の場合に、博士（医学）の学位を授与します。

- 1 所定の期間在学し、所定の単位を修得し、査読付きの学術雑誌に掲載された博士論文の審査および試験に合格すること。
- 2 医学に関する豊かで幅広い学識及び高度な研究能力、さらには生命・医療倫理の深い知識とこれに根差した先進的な医療開発研究を遂行する能力を身に付けており、医学分野での高い専門性を通して、国際的に活躍できる能力を身につけること。
- 3 医療の発展に貢献する専門的な知識と技術を持ち、高度な倫理観を備えたりサーチマインドを持つ医療人の素養を備えること。

II. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

医学専攻博士課程では、次の目標のもとに体系的な教育課程の編成と研究指導を実施します。

- 1 学位授与の方針で示す研究能力や知識・技術の習得。
- 2 豊かな学識と高度な倫理観を備え、自立して国際的に研究活動を行う能力の習得。

III. アドミッション・ポリシー（入学者の受入れの方針）

- 1 医学専攻博士課程では、次のような入学者を求めています。

- (1) 専門分野において自ら課題を発見して解決するために必要な学力を備えている人
- (2) 研究に対して積極的に取り組む意欲をもっている人
- (3) 高度先進医療を志す人
- (4) 医学の基礎・臨床の先端研究に取り組み国際的発展に貢献する志のある人

- 2 こうした入学者を国内外から受け入れるために鳥取大学大学院医学系研究科医学専攻博士課程は、多様な入試方法によりその適性を確認します。

目 次

募 集 要 項

I. 専攻・領域及び募集定員	1
II. 出願資格	2
III. 出願資格の認定	3
IV. 出願手続	4
V. 入試方法	6
VI. 合格発表	6
VII. 入学手続	6
VIII. その他	7

入 学 案 内

I. 目的	8
II. 修業年限	8
III. 組織及び指導教員等	8
IV. 履修方法及び学位授与	11
V. 長期履修制度について	12
VI. 入学料免除(徴収猶予)及び授業料免除について	12
VII. 国の教育ローン(日本政策金融公庫)	13
VIII. 奨学金制度について	13

米子地区案内図	14
---------	----

平成30・31年度鳥取大学大学院医学系研究科 医学専攻博士課程学生募集要項 (一般入試・社会人特別入試)

I. 専攻・領域及び募集定員

専攻	領域	部門名	募集定員
医学専攻	形態・機能制御医学	解剖学、統合分子医化学、分子薬理学、皮膚病態学、運動器医学、形成外科	平成30年10月入学者(若干名) (社会人、腫瘍専門医コース、革新的未来医療創造コース、障害児医療学コースを含む。) 平成31年4月入学者 30人 (社会人、腫瘍専門医コース4人、革新的未来医療創造コース4人、障害児医療学コース2人を含む。)
	病態解析・制御医学	薬物治療学、器官病理学、機能病態内科学、画像診断治療学、臨床検査医学、病態制御外科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科学、口腔顎顔面病態外科学、薬剤部、胸部外科学	
	社会環境情報医学	環境予防医学、健康政策医学、法医学、医学教育学、病態運動学、救急・災害医学、医療情報部、地域医療学	
	発達加齢適応医学	適応生理学、病態情報内科学、周産期・小児医学、器官再生外科学、生殖機能医学、腎泌尿器学、麻酔・集中治療医学	
	生体防御医学	分子病理学、細菌学、ウイルス学、医動物学、分子制御内科学、視覚病態学、感染制御部	
	脳神経医学	統合生理学、精神行動医学、脳神経内科学、脳病態医科学、脳神経外科学、脳神経小児科学	
	臨床腫瘍学(腫瘍専門医コース)	解剖学、分子薬理学、運動器医学、薬物治療学、器官病理学、機能病態内科学、画像診断治療学、臨床検査医学、病態制御外科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科学、口腔顎顔面病態外科学、薬剤部、周産期・小児医学、器官再生外科学、生殖機能医学、腎泌尿器学、麻酔・集中治療医学、分子病理学、分子制御内科学、精神行動医学、脳神経外科学、胸部外科学、がんセンター、乳腺内分泌外科、放射線治療科	
	イノベーション医療学(革新的未来医療創造コース)	解剖学、統合生理学、適応生理学、器官病理学、分子病理学、脳病態医科学、細菌学、ウイルス学、医動物学、環境予防医学、健康政策医学、法医学、病態運動学、統合分子医化学、分子薬理学、薬物治療学、画像診断治療学、臨床検査医学、病態情報内科学、機能病態内科学、分子制御内科学、周産期・小児医学、病態制御外科学、器官再生外科学、胸部外科学、腎泌尿器学、生殖機能医学、麻酔・集中治療医学、救急・災害医学、運動器医学、皮膚病態学、視覚病態学、耳鼻咽喉・頭頸部外科学、口腔顎顔面病態外科学、脳神経内科学、脳神経外科学、脳神経小児科学、精神行動医学、地域医療学、薬剤部、医療情報部、新規医療研究推進センター	
障害児医療学(障害児医療学コース)	病態情報内科学、分子制御内科学、周産期・小児医学、腎泌尿器学、脳神経小児科学		

出願を希望する者は、必ず出願前に志望部門の教授等と連絡を取り、出願や入学後の研究活動等について相談してください。教授等の連絡先がわからない場合は、医学部学務課教育企画係にメールで照会してください。

教育企画係メールアドレス：me-gakumusou@ml.adm.tottori-u.ac.jp

Ⅱ. 出願資格

(一般入試)

次の各号のいずれかに該当する者及び平成30年10月入学志願者においては平成30年9月30日までに、平成31年4月入学志願者においては平成31年3月31日までにいずれかに該当する見込みの者

1. 大学(医学、歯学又は修業年限6年の獣医学の課程に限る。)を卒業した者
2. 外国において学校教育における18年の課程(最終の課程は医学、歯学又は獣医学に限る。)を修了した者
3. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程(最終の課程は医学、歯学又は獣医学に限る。)を修了した者
4. 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
5. 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が5年以上である課程(医学、歯学又は獣医学の課程に限る。)を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
6. 文部科学大臣の指定した者(昭和30年文部省告示第39号)
 - (1) 旧大学令(大正7年勅令第388号)による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
 - (2) 防衛庁設置法(昭和29年法律第164号)による防衛医科大学校を卒業した者
 - (3) 大学院研究科において修士課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期2年及び後期3年の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者で本研究科において、大学の医学、歯学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
 - (4) 大学(医学、歯学又は獣医学を履修する課程を除く。)を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、大学の医学、歯学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
7. 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者がその後本研究科に入学する場合において本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
8. 次の各号のいずれかに該当する者であって、本研究科が定める大学の単位を優秀な成績で修得したものと認められた者
 - (1) 大学(医学、歯学又は獣医学を履修する課程に限る。)に4年以上在学する者
 - (2) 外国において学校教育における16年の課程(医学、歯学又は獣医学を履修する課程に限る。)を修了した者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程(医学、歯学又は獣医学を履修する課程に限る。)を修了した者
9. 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者

(注) 1. 上記6の(3)、(4)、7、8、9のいずれかにより出願を希望する者は、「Ⅲ. 出願資格の認定」を参照してください。

2. 医師等の資格を有しない者は、大学院において研究を遂行する際に、医師等の資格が必要な臨床研究等を行うことはできません。
3. 腫瘍専門医コースで臨床腫瘍学会専門医を目指す場合は医師免許を有し、卒後臨床研修を平成30年10月入学志願者においては、平成30年9月30日までに、平成31年4月入学志願者においては、平成31年3月31日までに修了していることが必要です。
4. 出願資格9により出願を希望する者は、企業または研究所等において2年以上研究に従事した経験がある者としてします。

(社会人特別入試)

前記(一般入試)の要件に加え、出願時及び入学時に医療機関、教育・研究機関、企業等に勤務している者で、当該所属長の受験許可等を得ることが可能な者

Ⅲ. 出願資格の認定

出願資格6の(3)、(4)、7、8、9のいずれかにより出願を希望する者は、下記書類を整え、事前に出願資格の認定を受けてから出願してください。

1. 提出書類

- (1) 出願資格6の(3)又は(4)により出願を希望する者
①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥, ⑫
- (2) 出願資格7又は8の(1)により出願を希望する者
①, ③, ⑦, ⑧, ⑨, ⑩, ⑪, ⑫
- (3) 出願資格8の(2)又は(3)により出願を希望する者
①, ②, ③, ⑦, ⑧, ⑨, ⑩, ⑪, ⑫
- (4) 出願資格9により出願を希望する者
①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥, ⑦, ⑧, ⑪, ⑫

① 出願資格認定申請書	本研究科所定の用紙(様式A)
② 卒業証明書又は 修了証明書	最終出身学校の長が作成したもの。
③ 履 歴 書	本研究科所定の用紙(様式B)
④ 研究業績目録	本研究科所定の用紙に、過去に発表した学術論文、研究発表・報告、学会発表、特許、携わったプロジェクト案件・業務内容等について記入し、学術論文等の印刷又はコピーを添付してください。(様式C)
⑤ 研究・職務経験概要	本研究科所定の用紙に研究及び職務等の経験がある場合は、その概要について記入してください。(様式D)
⑥ 研究・職務内容証明書	本研究科所定の用紙に、⑤の研究・職務経験概要記入事項(研究・職務の内容、期間)について、従事した機関の長が証明したもの。(様式E)
⑦ 推 薦 書	本研究科所定の用紙に、現在所属する勤務先、学校等の機関の長が作成し、厳封したもの。(様式F)
⑧ 成績証明書	最終出身学校の長が作成し、厳封したもの。
⑨ 在学証明書又は 在学期間証明書	在学中の者は在学証明書を、退学した者は在学期間証明書を提出してください。
⑩ 在学する(した)学部・学科 等の履修概要等	4年次又は外国の学校教育における16年の課程修了までに必要な履修科目・単位が履修されていることを証するもの及びカリキュラムが確認できるもの(A4版様式随意)。ただし、本学医学部学生は不要です。
⑪ 研究計画書	本研究科所定の用紙(様式G)
⑫ 返信用封筒	定形型封筒(長形3号)に郵便切手362円分(速達料を含む。)を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記の上、提出してください。

(注) 本学医学部(医学系研究科)を卒業(修了)した者、又は卒業(修了)見込み者については②、⑧の提出書類は不要です。

修士の学位を授与された者または授与される見込みの者については、大学院に関する⑤、⑥の提出書類は不要です。

(5) 提出期間

第1回 平成30年 6月 4日(月) から 6月 8日(金) まで(必着)

第2回 平成30年 9月25日(火) から10月 1日(月) まで(必着)

受付時間は、平日の9時から17時まで

(6) 提出先

〒683-8503 鳥取県米子市西町86

鳥取大学医学部学務課教育企画係 TEL (0859)38-7106

2. 面接

出願資格9により出願を希望する者については、提出書類及び面接により出願資格の認定審査を行います。面接日時、会場等の詳細については、該当者に別途お知らせします。

3. 結果の通知

審査の結果は、第1回は平成30年6月26日(火)、第2回は平成30年10月26日(金)までに本人あてに通知書を送付します。

4. その他

出願資格に疑義のある者は、医学部学務課教育企画係(TEL (0859)38-7106)にお問い合わせください。

IV. 出願手続

1. 出願期間

第1回 平成30年 7月 5日(木) から 7月12日(木) まで(必着)

第2回 平成30年11月 8日(木) から11月14日(水) まで(必着)

受付時間は、平日の9時から17時まで

2. 出願書類提出先

〒683-8503 鳥取県米子市西町86

鳥取大学医学部学務課教育企画係 TEL (0859)38-7106

3. 出願方法

入学志願者は次の出願書類等を取り揃えて、鳥取大学医学部学務課教育企画係へ提出してください。郵送の場合は「速達・書留」とし、封筒(角型2号)の表に「大学院入学願書在中」と朱書してください。出願書類等に不備のある場合は受け付けないことがありますので十分留意してください。

また、専門科目試験連絡のために志願者のメールアドレスを登録しますので、教育企画係へメールを送信してください(me-gakumusoum@ml.adm.tottori-u.ac.jp)。件名「医学専攻博士課程メールアドレス登録」とし、本文中に医学専攻博士課程の志願者ということがわかるようにしてください。出願受付後、教育企画係から受信確認のメールを送信します。

4. 出願書類等

出 願 書 類	摘 要
(1) 志 願 票	本研究科所定の志願票に所要事項を記入のうえ提出してください。
(2) 受 験 票 ・ 写 真 票	所要事項を記入し、写真(縦4cm×横3cm、上半身・無帽・正面向きで、出願前3か月以内に撮影したもの。)を貼って提出してください。

(3)成績証明書	出身大学長（学部長）が作成し、厳封したものを提出してください。 （学部の成績証明書）
(4)卒業・修了（見込） 証明書	1通（ただし、出願資格の認定を受けた者は不要です。）
(5)検定料	<p>検定料 30,000円</p> <p>本学所定の振込用紙を使用して、最寄りの銀行窓口（郵便局、ゆうちょ銀行を除く。ATMは利用しないでください。）から振り込みの上、「検定料振込済証明書」を必ず受け取り、「検定料振込済証明書貼付台紙」の所定の位置に貼り付けてください。</p> <p>また、手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。</p> <p>検定料振込期間</p> <p>第1回 平成30年 7月 3日（火）から 7月12日（木）まで 第2回 平成30年11月 6日（火）から11月14日（水）まで</p> <p>なお、既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。</p> <p>a. 検定料を振り込んだが出願しなかった（出願書類を提出しなかった）場合 b. 検定料を振り込んだが出願が受理されなかった場合 c. 検定料を誤って二重に振り込んだ場合</p> <p>上記a～cに該当する場合は、必ず医学部学務課教育企画係（TEL(0859)38-7106）へ連絡してください。（返還方法等の詳細については、文書でお知らせします。）</p> <p>ただし、平成31年3月に本学研究科の博士前期（修士）課程を修了見込みの者で引き続き本課程に進学する者及び外国人志願者のうち、日本政府（文部科学省）国費留学生は検定料の支払いは不要です。</p>
(6)退職誓約書 （一般入試志願者）	現在、官公庁、学校、会社、病院等に在職している者で、退職して入学する予定の者は、退職誓約書（様式1）を提出してください。
(7)受験承認書 （社会人特別入試志願者）	現在、官公庁、学校、会社、病院等に在職している者は、当該所属長の受験承認書（様式2）を提出してください。
(8)志望理由書	本研究科所定の志望理由書（様式3）を提出してください。
(9)宛名票	本研究科所定の宛名票（様式4）に所要事項を記入の上、提出してください。
(10)住民票等 （外国人のみ）	日本に在住する外国人は、市区町村長発行の住民票又は在留カードの写し（両面）等、在留資格が記載されたものを、前述のものを提出することができない外国人はパスポートの写しを提出してください。
(11)返信用封筒 （受験票送付用）	定形型封筒（長形3号）に郵便切手362円分（速達料を含む。）を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記の上、提出してください。

- (注) 1. 本学医学部卒業（見込）者については(3)、(4)の出願書類は不要です。
2. (7)について、本学医学部または附属病院に勤務する者は、本学医学部総務課人事係へお問い合わせください。(TEL (0859)38-7046)

※受験票は、第1回については7月17日（火）頃、第2回については11月16日（金）頃速達郵便で発送します。

なお、受験票が、第1回については7月23日（月）、第2回については11月26日（月）を過ぎても到着しない場合は、医学部学務課教育企画係（TEL (0859)38-7106）へお問い合わせください。

V. 入試方法

試験の成績、成績証明書等を総合して判定します。

なお、試験日時、試験科目等は以下のとおりです。

第1回 平成30年 8月 9日(木)

第2回 平成30年11月30日(金)

時 間	試 験 科 目	試 験 場
10:00～11:30	外国語(英語)	鳥取大学 医学部
11:50～	外国人留学生面接	
11:50～17:00	専門科目 (志望する部門で実施)	

1. 試験室等詳細については、受験票送付時にお知らせします。
2. 外国語の試験は、英語(英文和訳、和文英訳等)の筆答試験を行います。
3. 外国人留学生の外国語の試験は、英語の筆答試験及び日本語と英語による面接を行います。
4. 外国語の試験については、辞書(和英、英和及び英英辞典のみ。)の持ち込みを許可します。
(ただし、電子辞書は除く。)
5. 専門科目の試験は、志望する部門で筆答又は口頭で行います。(時間・場所等については担当教員からメールにより通知します。メールアドレスのない方については、別途対応します。)
6. 試験当日は9時40分までに試験室に入室してください。

VI. 合格発表

第1回 平成30年 8月31日(金)

第2回 平成31年 1月 8日(火)

鳥取大学医学部ホームページに合格者の受験番号を午前11時頃に掲載するとともに、本人あてに合格通知書のほか入学手続に必要な書類を送付します。(不合格者には通知しません。)

鳥取大学医学部ホームページURL: <http://www.med.tottori-u.ac.jp/exam/>

なお、電話による合否の照会には応じません。

ただし、出願資格8の(1)に該当する志願者について、在学中の成績が所定の要件を満たさない場合は、合格を取り消します。

また、成績確認に必要な書類等は、平成31年2月22日(金)まで(必着)に提出してください。

VII. 入学手続

平成30年10月入学者 平成30年9月 3日(月)から平成30年9月 6日(木)まで(必着)

平成31年 4月入学者 平成31年2月12日(火)から平成31年2月27日(水)まで(必着)

受付時間は、平日の9時から17時まで

入学手続は、必要書類を取り揃えて入学手続期限までに必着となるよう「速達・書留」で郵送するか、直接持参し、完了してください。

なお、入学を辞退する場合は、医学部学務課教育企画係(TEL(0859)38-7106)へ連絡してください。

1. 手続書類等

(1) 受験票

(2) 入学料 282,000円(予定額)

① 合格者には所定の振込用紙を送付しますので、入学手続期間中にお振り込みください。ただし、平成31年3月に本学大学院博士前期(修士)課程を修了し、引き続き本課程に進学する者及び日本政府(文部科学省)国費留学生は不要です。

② 振込方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

- ③ 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 入学料の免除（又は徴収猶予）を希望する場合は、入学手続時に入学料を納入しないでください。

(3) 授業料について

授業料 半期分 267,900円（予定額）〔年額 535,800円（予定額）〕

- ① 納入時期は、前期は5月、後期は11月です。ただし、日本政府（文部科学省）国費留学生は不要です。
- ② 本学では授業料の納入を、口座振替方式としています。
- ③ 口座振替手続等詳細については、合格通知の際にお知らせします。
- ④ 授業料の納入については、希望により前期分の納入時に後期分も併せて納入することができます。
- ⑤ 前期分授業料納入の際に、後期分授業料も併せて納入した者が前期の末日までに休学又は退学した場合には、納入した者の申し出により後期分の授業料相当額を返還します。
- ⑥ 授業料の免除（又は徴収猶予）を希望する場合は、入学手続時に授業料を納入しないでください。

* 入学料、授業料は予定額です。入学時及び在学中に改定があった場合、改定後の入学料、授業料を納入していただくこととなりますのでご了承ください。

2. 入学手続場所

〒683-8503 鳥取県米子市西町86

鳥取大学医学部学務課教育企画係 TEL (0859)38-7106

Ⅷ. その他

- 1. 出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。
- 2. 提出書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- 3. 身体に障がいのある方で受験上及び修学上で配慮を必要とする者は、出願の前に申し出てください。
- 4. 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報については、入学者選抜に関わる業務（入学試験業務に付随する統計処理などの業務及び入学者選抜方法研究等のために行う業務などを含む。）及び入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務を行うために利用するとともに管理します。他の目的での利用及び本学関係教職員以外への提供は行いません。

鳥取大学大学院医学系研究科医学専攻博士課程入学案内

I. 目 的

本研究科は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的としています。

II. 修業年限 博士課程 標準修業年限 4年

III. 組織及び指導教員等

領 域	部 門 名	旧専攻・部門名	指 導 教 員	授 業 科 目
形態 制・ 御機 能 学	解剖学	生理系・解剖学第一	海藤 俊行	ゲノム形態学特論・演習
	統合分子医化学	生理系・生化学	松浦 達也	人体形態学特論・演習
	分子薬理学	生理系・薬理学	今村 武史	分子代謝制御学特論・演習
	皮膚病態学	内科系・皮膚科学	山元 修	薬物作用学特論・演習
	運動器医学	外科系・整形外科学	永島 英樹	皮膚病態学特論・演習
	形成外科		八木 俊路朗	運動器医学特論・演習
病態 解 析 ・ 制 御 医 学	薬物治療学	生理系・臨床薬理学	三明 淳一朗	形成外科学特論・演習
	器官病理学	病理系・病理学第一	梅北 善久	薬物治療学特論・演習
	機能病態内科学	内科系・内科学第二	磯本 一	器官病理学特論・演習
	画像診断治療学	内科系・放射線医学		機能病態内科学特論・演習
	臨床検査医学	内科系・臨床検査医学	本倉 徹	放射線科学特論・演習
	病態制御外科学	外科系・外科学第一	藤原 義之	臨床検査医学特論・演習
	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	外科系・耳鼻咽喉科学	竹内 裕美	外科腫瘍学特論・演習
	口腔顎顔面病態外科学	外科系・歯科口腔外科学	小谷 勇	耳鼻咽喉・頭頸部外科学特論・演習
	薬剤部		島田 美樹	口腔顎顔面病態外科学特論・演習
	胸部外科学		中村 廣繁	医療薬学特論・演習
社会 環 境 情 報 医 学	環境予防医学	社会医学系・衛生学	尾崎 米厚	胸部外科学特論・演習
	健康政策医学	社会医学系・公衆衛生学	黒沢 洋一	環境予防医学特論・演習
	法医学	社会医学系・法医学	飯野 守男	公衆衛生学特論・演習
	医学教育学	社会医学系・医療環境学	中野 俊也	法医人類遺伝学特論・演習
	病態運動学	社会医学系・病態運動学	加藤 敏明	医学教育学特論・演習
	救急・災害医学	外科系・救急・災害医学	本間 正人	病態運動学特論・演習
	医療情報部		近藤 博史	救急・災害医学特論・演習
	地域医療学		谷口 晋一	医療情報学特論・演習
発 達 加 適 齢 医 学	適応生理学	生理系・生理学第二	松尾 聡	地域医療学特論・演習
	病態情報内科学	内科系・内科学第一	山本 一博	適応生理学特論・演習
	周産期・小児医学	内科系・小児科学	神崎 晋	病態情報内科学特論・演習
	器官再生外科学	外科系・外科学第二	西村 元延	発生・発達解析学特論・演習
	生殖機能医学	外科系・産科婦人科学	原田 省	器官再生外科学特論・演習
	腎泌尿器学	外科系・泌尿器科学	武中 篤	生殖機能医学特論・演習
	麻酔・集中治療医学	外科系・麻酔・蘇生学	稲垣 喜三	腎泌尿器科学特論・演習
生 体 防 御 医 学	分子病理学	病理系・病理学第二	林 一彦	麻酔・集中治療医学特論・演習
	細菌学	病理系・細菌学	藤井 潤	分子病理学特論・演習
	ウイルス学	病理系・ウイルス学	景山 誠二	細菌学特論・演習
	医動物学	社会医学系・医動物学	大槻 均	ウイルス学特論・演習
	分子制御内科学	内科系・内科学第三	山崎 章	分子医動物学特論・演習
	視覚病態学	外科系・眼科学	井上 幸次	分子制御内科学特論・演習
	感染制御部		千酌 浩樹	視覚病態学特論・演習
				感染症内科学特論・演習

脳 神 經 医 学	統合生理学	生理系・生理学第一	渡邊 達生	統合生理学特論・演習
	精神行動医学	内科系・神経精神医学	兼子 幸一	精神行動医学特論・演習
	脳神経内科学	内科系・脳神経内科学	花島 律子	神経内科学特論・演習
	脳病態医科学	病理系・脳神経病理学	加藤 信介	脳神経病理学特論・演習
	脳神経外科学	外科系・脳神経外科学	黒崎 雅道	脳神経外科学特論・演習
	脳神経小児科学	内科系・脳神経小児科学	前垣 義弘	小児神経学特論・演習
臨 床 腫 瘍 学	解剖学	生理系・解剖学第一	海藤 俊行	臨床腫瘍学総論
	分子薬理学	生理系・薬理学	今村 武史	ゲノム形態学特論
	運動器医学	外科系・整形外科	永島 英樹	薬物作用学特論
	薬物治療学	生理系・臨床薬理学	三明 淳一朗	薬物治療学特論
	器官病理学	病理系・病理学第一	梅北 善久	器官病理学特論
	機能病態内科学	内科系・内科学第二	磯本 一	放射線科学特論
	画像診断治療学	内科系・放射線医学		外科腫瘍学特論
	臨床検査医学	内科系・臨床検査医学	本倉 徹	耳鼻咽喉・頭頸部外科学特論
	病態制御外科学	外科系・外科学第一	藤原 義之	口腔顎顔面病態外科学特論
	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	外科系・耳鼻咽喉科学	竹内 裕美	生殖機能医学特論
	口腔顎顔面病態外科学	外科系・歯科口腔外科学	小谷 勇	腎泌尿器科学特論
	薬剤部		島田 美樹	麻酔・集中治療医学特論
	周産期・小児医学	内科系・小児科学	神崎 晋	分子制御内科学特論
	器官再生外科学	外科系・外科学第二	西村 元延	脳神経外科学特論
	生殖機能医学	外科系・産科婦人科学	原田 省	血液学特論
	腎泌尿器学	外科系・泌尿器科学	武中 篤	化学療法トレーニング
	麻酔・集中治療医学	外科系・麻酔・蘇生学	稲垣 喜三	放射線治療トレーニング
	分子病理学	病理系・病理学第二	林 一彦	緩和ケアトレーニング
	分子制御内科学	内科系・内科学第三	山崎 章	血液腫瘍トレーニング
	精神行動医学	内科系・神経精神医学	兼子 幸一	呼吸器内科トレーニング
	脳神経外科学	外科系・脳神経外科学	黒崎 雅道	消化器外科トレーニング
	胸部外科学		中村 廣繁	乳腺・内分泌外科トレーニング
	がんセンター		磯本 一	泌尿器腫瘍トレーニング
	乳腺内分泌外科		鈴木 喜雅	頭頸部外科トレーニング
	放射線治療科		内田 伸恵	婦人科腫瘍トレーニング
				がんプロ合同セミナー 他
イ ノ ベ ー シ ョ ン 医 療 学	解剖学	生理系・解剖学第一	海藤 俊行	実用的解剖学特論・演習
	統合生理学	生理系・生理学第一	渡邊 達生	実用的生理学特論
	適応生理学	生理系・生理学第二	○松尾 聡	実践的生理学演習
	器官病理学	病理系・病理学第一	梅北 善久	実用的病理学特論 実践的病理学演習
	分子病理学	病理系・病理学第二	○林 一彦	
	脳病態医科学	病理系・脳神経病理学	加藤 信介	実用的感染制御学特論 実践的感染制御学演習
	細菌学	病理系・細菌学	藤井 潤	
	ウイルス学	病理系・ウイルス学	○景山 誠二	実用的社会医学特論 実践的社会医学演習
	医動物学	社会医学系・医動物学	大槻 均	
	環境予防医学	社会医学系・衛生学	尾崎 米厚	実用的分子生化学特論・演習 薬物臨床応用特論・演習
	健康政策医学	社会医学系・公衆衛生学	○黒沢 洋一	
	法医学	社会医学系・法医学	飯野 守男	実践的放射線科学特論・演習 実践的臨床検査医学特論・演習
	病態運動学	社会医学系・病態運動学	加藤 敏明	
	統合分子医化学	生理系・生化学	松浦 達也	実践的循環器病態学特論・演習 革新的機能病態内科学特論・演習
	分子薬理学	生理系・薬理学	今村 武史	
	薬物治療学	生理系・臨床薬理学	三明 淳一朗	
	画像診断治療学	内科系・放射線医学		
臨床検査医学	内科系・臨床検査医学	本倉 徹		
病態情報内科学	内科系・内科学第一	山本 一博		
機能病態内科学	内科系・内科学第二	磯本 一		

イ ノ ベ ー シ ョ ン 医 療 学	分子制御内科学	内科系・内科学第三	山崎 章	実践の呼吸器病態学特論・演習
	周産期・小児医学	内科系・小児科学	神崎 晋	革新の小児科学特論・演習
	病態制御外科学	外科系・外科学第一	藤原 義之	実践の外科腫瘍学特論・演習
	器官再生外科学	外科系・外科学第二	西村 元延	心臓血管外科学特論・演習
	胸部外科学		中村 廣繁	革新の胸部外科学特論・演習
	腎泌尿器学	外科系・泌尿器科学	武中 篤	革新の腎泌尿器科学特論・演習
	生殖機能医学	外科系・産科婦人科学	原田 省	革新の生殖機能医学特論・演習
	麻酔・集中治療医学	外科系・麻酔・蘇生学	稲垣 喜三	革新の麻酔・集中治療医学特論・演習
	救急・災害医学	外科系・救急・災害医学	本間 正人	未来型救急・災害医療特論・演習
	運動器医学	外科系・整形外科	永島 英樹	実践の運動器医学特論・演習
	皮膚病態学	内科系・皮膚科学	山元 修	革新の皮膚病態学特論・演習
	視覚病態学	外科系・眼科学	井上 幸次	革新の視覚病態学特論・演習
	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	外科系・耳鼻咽喉科学	竹内 裕美	革新の耳鼻咽喉・頭頸部外科学特論・演習
	口腔顎顔面病態外科学	外科系・歯科口腔外科学	小谷 勇	革新の口腔顎顔面病態外科学特論・演習
	脳神経内科学	内科系・脳神経内科学	花島 律子	臨床神経内科学特論・演習
	脳神経外科学	外科系・脳神経外科学	黒崎 雅道	臨床神経外科学特論・演習
	脳神経小児科学	内科系・脳神経小児科学	前垣 義弘	実践の小児神経学特論・演習
	精神行動医学	内科系・神経精神医学	兼子 幸一	革新の精神医学特論・演習
	地域医療学		谷口 晋一	未来型地域医療学特論・演習
	薬剤部		島田 美樹	革新の創薬・育薬特論・演習
医療情報部		近藤 博史	未来型医療情報システム特論・演習	
新規医療研究推進 センター		植木 賢	革新の未来医療創造特論 臨床研究安全倫理特論 キャリア形成支援特論 企業開発等技術者講義 知財戦略講義 基礎医学概論 発明楽実践演習 特許作成演習 革新の未来医療創造演習 低侵襲外科センターメディカル イノベーション演習（Ⅰ・Ⅱ） 医療機器製品化体験演習（Ⅰ・Ⅱ） ゲノム・再生医療先端演習（Ⅰ・Ⅱ） 臨床医学演習 グローバルイノベーション実践（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ） 革新の医療創造実践	
障 害 児 医 療 学	病態情報内科学	内科系・内科学第一	山本 一博	重症児循環器病態学特論
	分子制御内科学	内科系・内科学第三	山崎 章	重症児呼吸器病態学特論
	周産期・小児医学	内科系・小児科学	神崎 晋	発生・発達解析学特論・演習
	腎泌尿器学	外科系・泌尿器科学	武中 篤	重症児腎泌尿器科学特論
	脳神経小児科学	内科系・脳神経小児科学	前垣 義弘	小児在宅医学特論基礎Ⅰ・Ⅱ 小児在宅医学特論応用 代謝学特論 脳形成異常特論 コミュニケーション特論 小児神経学特論 小児発達学 実践的小児神経学演習 小児神経学トレーニング 在宅人工換気実習 代謝・情報系クラスター 脳・神経代謝機能学 先天代謝異常症と遺伝カウンセリング 先天代謝異常症と新生児マスキリーニング

※「指導教員」欄の○印は、複数の部門が担当する授業科目の責任者を表す。

◎がんプロフェッショナル養成プラン「腫瘍専門医コース」について

中国地方中山間地のがん医療均てん化を目指して、鳥取大学、島根大学、広島大学の3大学が連携した「銀の道で結ぶがん医療人養成コンソーシアム」が平成19年度文部科学省がんプロフェッショナル養成プランに採択されました。このコンソーシアムでは、内陸部を共有する鳥取・島根・広島の3県、3大学の大学院研究科が連携して相互補完を図り、がん医療に携わる人材の育成を効率よく行うことで成果をあげました。

本事業終了後も、本研究科医学専攻の中に設置した「腫瘍専門医コース」において、がん医療に携わる専門医師の養成を目指しています。このコースに所属する学生は、がんの基盤的知識の講義、緩和医療を含めた幅広いがん治療演習を受講します。また、複数の診療科をローテートし（学外も可能）、多様ながんに対する化学療法や放射線療法及び緩和ケア等を経験し、日本臨床腫瘍学会等の専門医の受験資格を得ることを目指します。この間、主任指導教員のもとで、がんに関連した臨床・基礎研究によって学位論文の作成を行います。

◎イノベーション医療学「革新的未来医療創造コース」について

近年、我が国では少子高齢化が急速に進展し、様々な医療課題が生じています。そこで、これらの課題解決に貢献するため、鳥取大学は独自に考案した「発明楽(はつめいがく)」を軸とする「革新的未来医療創造人材の養成」を申請し、文部科学省未来医療研究人材養成拠点形成事業(平成25～29年度)に採択されました。この事業では、研究を楽しみ、既成概念にとらわれず独創的な研究を見出すことのできる研究者を育成します。また、国内外の医療の発展や新たな市場の創出に寄与することができる人材の養成を目指します。そこで、医学専攻内に「革新的未来医療創造コース」を設置しました。

このコースに所属する学生は、常識にとらわれない4つの発想法「発明楽」や最先端の医療技術、臨床研究に関する講義を受けます。また、知的財産やレギュラトリーサイエンス等に関する講義を受け、医薬品や医療機器について発案し、製品化までに必要な知識を身につけます。さらに、現場での研修を通じて、本学が医療機関や企業と連携して行っている最先端の医療・介護ロボット等の製品化過程を学びます。

◎課題解決型高度医療人材養成プログラム「障害児医療学コース」について

医療現場の様々な諸課題に対応していくために、大学・大学病院を通じて高度医療を支えるための文部科学省高度人材養成プログラムに、鳥取大学を主幹校とした4大学連携（大阪市立大学と秋田大学、山形大学）の取り組み「重症児の在宅支援を担う医師等養成」事業が平成26年度より採択されました。この事業では、重症児の診療に必要な専門的知識と医療技能に習熟した小児科専門医師等の養成を目指します。

本研究科においては上記のような人材を養成するため、医学専攻の中に「障害児医療学コース」を設置しています。このコースに所属する学生は、重症児の原因疾患の基礎的知識や小児の発生・発達、在宅医療の基礎的知識、医療コミュニケーションなどの幅広い講義と、在宅人工換気や小児神経学の実習を受講します。連携大学とのTV会議システムによる遠隔講義やeラーニングを受講することができます。大阪市立大学と秋田大学では代謝学特論を山形大学では脳形成異常特論を講義します。また、重症児の院内支援会議や地域支援ネットワーク会議に参加し、他職種・他機関と連携することでコミュニケーション能力を身に付けます。この間、主任指導教員のもとで、重症児に関連した基礎・臨床研究によって学位論文を作成します。

IV. 履修方法及び学位授与

1. 本研究科において、4年以上在学し下表のとおり30単位以上履修します。

(1) 単位の修得方法（腫瘍専門医コース、革新的未来医療創造コース及び障害児医療学コースを除く。）

主科目、副科目及び選択科目の履修は、主任指導教授等の指示により履修することになります。

博 士 課 程	
主科目	20単位以上
主科目1	12単位以上（特論8単位以上、演習4単位以上）
主科目2	8単位以上（特論4単位以上、演習4単位以上）
副科目	4単位以上（特論2単位以上、演習2単位以上）
選択科目	6単位以上
計	30単位以上

(2) 単位の修得方法（腫瘍専門医コース）

博士課程（腫瘍専門医 コース）	
系統講義コース科目	6 単位以上
トレーニングコース科目	2 2 単位以上
アドバンスドコース科目	2 単位以上
計	3 0 単位以上

(3) 単位の修得方法（革新的未来医療創造コース）

博士課程（革新的未来医療創造コース）	
講義科目	1 0 単位以上
演習科目	1 2 単位以上
アドバンスドコース科目	1 単位以上
特別研究	5 単位
計	3 0 単位以上

(4) 単位の修得方法（障害児医療学コース）

博士課程（障害児医療学コース）	
講義科目	9 単位以上
演習科目	5 単位以上
実習科目	1 単位
特別研究	1 0 単位
計	3 0 単位以上

ただし、社会人学生については、次のとおり履修します。

① 授業科目の履修方法

夜間（18：30～21：40）に授業を開講します。

また、土曜日、日曜日、夏季・冬季休業期間にも開設し、単位修得のための便宜を図ります。
なお、通常の時間帯による授業も履修可能とします。

② 研究指導

研究指導及び論文の作成にあたっては、夜間、土曜日、日曜日或いはコンピュータネットワーク等のマルチメディアを活用して指導します。

2. 学位は前記の条件を満たし、かつ、独創的研究に基づく学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格した者に博士（医学）の学位を授与します。

ただし、在学期間に関しては、特に優れた研究業績をあげた者については、3年以上在学すれば足りるものとします（社会人学生を除く）。

V. 長期履修制度について

長期履修制度は、職業を有している等の事情により、通常の標準修業年限（4年間）では修了が困難である者に対し、標準修業年限を超えて一定の期間（最長8年間）にわたり計画的な履修を認める制度です。

また、授業料については、標準修業年限の4年間で支払うべき総額を、長期履修を認められた期間で均等割して支払うことになります。

なお、長期履修制度の適用を希望する者は、入学手続き時に申請が必要です。詳細については、医学部学務課教育企画係までお問合せください。

VI. 入学料免除（徴収猶予）及び授業料免除について

次のいずれかの条件に該当し、入学料又は授業料の納入が著しく困難と認められる場合は、本人の事前申請に基づき選考の上、入学料又は授業料が免除（全額又は半額）される制度があります。

(1) 経済的理由によって入学料又は授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合

(2) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

(3) (2) に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

詳細については、医学部学務課学生係（TEL (0859)38-7100）へお問い合わせください。

Ⅶ. 国の教育ローン（日本政策金融公庫）

本学に入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。

学生1人につき350万円以内を固定金利で利用でき、在学期間内は利息のみの返済とすることができます。

詳細については、日本政策金融公庫教育ローンコールセンター（0570-008656（ナビダイヤル））へお問い合わせください。

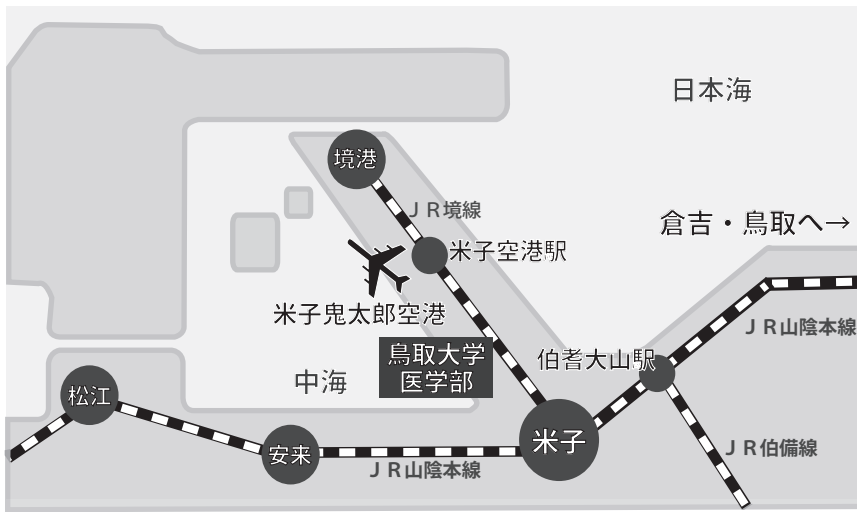
Ⅷ. 奨学金制度について

独立行政法人日本学生支援機構等において、人物・学業とも優れ、かつ、健康であって、経済的理由により修学が著しく困難であると認められる者には、本人の申請に基づき選考の上、奨学金を貸与し、修学を援助する制度があります。

また、本学では大学院博士課程（博士後期課程）に入学・進学する学生の研究意欲の向上及び優れた研究の推進に資するため、1・2年次学生を対象とした「エンカレッジ・ファンド」があり、研究科長から推薦された者に年額50万円を限度として奨学金が給付されます。

詳細については、医学部学務課学生係（TEL（0859）38-7100）へお問い合わせください。

米子地区案内図



- ① J R米子駅から徒歩約15分
- ② J R米子駅からタクシー約5分
- ③ 米子鬼太郎空港からタクシー約20分



アレスコ棟



医学部附属病院



総合教育棟



総合研究棟



生命科学棟

平成30年10月入学 鳥取大学大学院医学系研究科 博士課程
志 願 票

※必ず出願前に志望部門の教授等と連絡を取り、出願や入学後の研究活動等について相談してください。

専攻	*医学専攻	<input type="checkbox"/> 腫瘍専門医コース <input type="checkbox"/> 革新的未来医療創造コース <input type="checkbox"/> 障害児医療学コース <small>希望者は□に✓を付してください。</small>	受験番号	*
出願する入試方法	<input type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試	志望部門		
ふりがな 氏名		男 女	昭和 平成	年 月 日 生 年 月 日 (才)
メールアドレス	メールアドレス登録のため、教育企画部へメールアドレスを教えてください(備考(4))			
出願資格	大学	学部	学科	
国籍 (外国人のみ記入)	昭和 平成 年 月 卒業 大学大学院 研究科 専攻 課程 年 月 修了 修了見込			
ふりがな 住所	〒 TEL (携帯) () -			
連絡先 又は 勤務先	ふりがな 氏名 (又は勤務先)	続柄		
	ふりがな 住所	〒 TEL () -		

- 備考
- (1) *欄を除きすべて記入してください。
 - (2) 出願する入試方法を選択し□に✓を付してください。
 - (3) 裏面の履歴欄も記入してください。
 - (4) メールアドレスは専門科目試験の時間・場所等を担当教員から通知する際に使用する
ので必ず記入の上、下記登録先へメール送信してください。メールアドレスのない者
については別途対応するので、その旨記入してください。

登録先： me-gakumusou@ml.adm.tottori-u.ac.jp (教育企画係)

見本

出願の際は、必ず募集要項をお取り寄せ
いただき、添付されている指定用紙を使用
してください。

裏面も記入してください

平成30年10月入学
鳥取大学大学院医学系研究科博士課程

写 真 票	
専攻	* 医学専攻
受験番号	*
氏名	

写真貼付欄
(上半身・無帽・正
面向きで、出願前
3か月以内に撮
影したものをの
り付けしてくだ
さい)
縦4cm×横3cm

----- 切り離さないで提出してください -----

平成30年10月入学
鳥取大学大学院医学系研究科博士課程

受 験 票	
専攻	* 医学専攻
受験番号	*
氏名	

写真貼付欄
(上半身・無帽・正
面向きで、出願前
3か月以内に撮
影したものをの
り付けしてくだ
さい)
縦4cm×横3cm

平成31年4月入学 鳥取大学大学院医学系研究科 博士課程

志 願 票

※必ず出願前に志望部門の教授等と連絡を取り、出願や入学後の研究活動等について相談してください。

専攻	*医学専攻	<input type="checkbox"/> 腫瘍専門医コース <input type="checkbox"/> 革新的未来医療創造コース <input type="checkbox"/> 障害児医療学コース <small>希望者は□に✓を付してください。</small>	受験番号	*
出願する入試方法	<input type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試	志望部門		
ふりがな 氏名		男 女	生年月日	昭和 年 月 日生 平成 (才)
メールアドレス	メールアドレス登録のため、教育企画係へメール送信してください(備考(4))			
出願資格	大学	部	学科	
		昭和 平成	年 月	卒業 卒業見込
		昭和 平成	年 月	修了 修了見込
国籍 (外国人のみ記入)				
ふりがな 住所	TEL(携帯) () -			
連絡先 又は 勤務先	ふりがな 氏名 (又は勤務先)		続柄	
	ふりがな 住所	TEL () -		

- 備考
- (1) *欄を除きすべて記入してください。
 - (2) 出願する入試方法を選択し□に✓を付してください。
 - (3) 裏面の履歴欄も記入してください。
 - (4) メールアドレスは専門科目試験の時間・場所等を担当教員から通知する際に使用するので必ず記入の上、下記登録先へメール送信してください。メールアドレスのない者については別途対応するので、その旨記入してください。

登録先: me-gakumusou@ml.adm.tottori-u.ac.jp (教育企画係)

平成31年4月入学
鳥取大学大学院医学系研究科博士課程

写 真 票

専攻	* 医学専攻
受験番号	*
氏名	

写真貼付欄
(上半身・無帽・正
面向きで、出願前
3か月以内に撮
影したものをの
り付けしてくだ
さい。)
縦4cm×横3cm

**出願の際は、必ず募集要項をお取り寄せ
いただき、添付されている指定用紙を使用
してください。**

裏面も記入してください

平成31年4月入学
鳥取大学大学院医学系研究科博士課程

受 験 票

専攻	* 医学専攻
受験番号	*
氏名	

写真貼付欄
(上半身・無帽・正
面向きで、出願前
3か月以内に撮
影したものをの
り付けしてくだ
さい。)
縦4cm×横3cm

(様式1)

受験番号	*
------	---

*欄は記入しないこと

退職誓約書

鳥取大学大学院医学系研究科長 殿

私は現在、在職中ですが鳥取大学大学院医学系研究科医学専攻博士課程（一般入試）を受験することを希望します。

また、合格した際には、退職して入学することを誓約いたします。

平成 年 月 日

氏 名

印

(様式2)

受験番号	*
------	---

*欄は記入しないこと。

受 験 承 認 書

平成 年 月 日

鳥取大学大学院医学系研究科長 殿

所属機関名

所属長名

公
印

下記の者が、鳥取大学大学院医学系研究科医学専攻博士課程を受験することを承認します。
なお、同人が貴研究科に入学する場合は、在職のまま就学することを承認します。

記

所属部署

職 名

氏 名

※所属長(学長、学部長、病院長、代表取締役等)の公印によるものを提出してください。

※入学後、職場が変更する者については、「なお、」以下を二重線で消してください。

宛 名 票

- ◎ 志願者は本票を学生募集要項記載の出願書類と一緒に必ず提出してください。
- ◎ 楷書で丁寧に記入してください。

入試に関する確実な連絡先を記入してください。

場所がアパート、団地等の場合は「様方」の欄にアパート、団地名等を記入してください。
※印欄（受験番号欄）以外はすべて記入してください。

受験番号

下欄に、郵便番号、住所及び氏名を記入してください。

□□□-□□□□

様方
様

見 本

出願の際は、必ず募集要項をお取り寄せいただき、添付されている指定用紙を使用してください。

受験番号

下欄に、郵便番号、住所及び氏名を記入してください。

□□□-□□□□

様方
様

受験番号

下欄に、郵便番号、住所及び氏名を記入してください。 ※

□□□-□□□□

様方
様

※はがしたり、切ったりしないでこのまま提出してください

平成 年 月入学
鳥取大学大学院医学系研究科医学専攻
博士課程入学試験出願資格認定申請書

鳥取大学大学院医学系研究科長 殿

申請者
氏名

印

生年月日 昭和・平成 年 月 日

志望部門

下記の書類を添付のうえ、標記出願資格の認定を申請します。

記

※認定を希望する入試・出願資格の□にチェックを付けてください。

認定を希望する入試・出願資格	<input type="checkbox"/> 一般入試	<input type="checkbox"/> 出願資格6(3), (4)	<input type="checkbox"/> 出願資格9
	<input type="checkbox"/> 社会人特別入試	<input type="checkbox"/> 出願資格7	<input type="checkbox"/> 出願資格8(1), (2), (3)

※出願資格により指定された提出書類の□にチェックを付けてください。

- 卒業証明書又は修了証明書
- 履 歴 書
- 研 究 業 績 目 録
- 研 究 ・ 職 務 経 験 概 要
- 研 究 ・ 職 務 内 容 証 明 書
- 推 薦 書
- 成 績 証 明 書
- 在学証明書又は在学期間証明書
- 在学する(した)学部・学科等の履修概要等
- 研 究 計 画 書
- 返 信 用 封 筒

(様式B)

履 歴 書 (出願資格認定申請用)

鳥取大学大学院医学系研究科

氏名		生年月日	昭和・平成	年	月	日生	性別	男・女
専攻課程	医学専攻 博士課程	現	〒					
志望部門		住						
		所	TEL(携帯) E-mail					
学歴 ※高等学校(同等の教育機関を含む。)卒業以上について記入してください。								
年 月		高等学校卒業						
年 月～年 月								
年 月～年 月								
年 月～年 月								
年 月～年 月								
職歴								
年 月～年 月								
年 月～年 月								
年 月～年 月								
年 月～年 月								
年 月～年 月								
年 月～年 月								
資格・免許等								
年 月								
年 月								

※欄が不足する場合は、別紙を添付してください。

研究業績目録

鳥取大学大学院医学系研究科

氏名		志望部門	
<p>学術論文、研究発表・報告、学会発表、特許、携わったプロジェクト案件・業務内容 等 現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、通し番号を付して記入してください。なお、<u>学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限ります。</u> (例えば学術論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、巻、最初と最後の頁、発表年(西暦)について記入し、研究発表の場合は、発表題目、発表者名、発表学会名、発表年月を記入してください。なお、資格認定申請者名には二重下線を付してください。) (以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名(発表者名)が多数にわたる場合は、主な著者(発表者)を数名記入し以下を省略しても可(省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入。))</p>			

(注)1. 学術論文等は、別刷り又は写しを添付してください。なお、パソコンを使用する場合は、本様式に印刷又は本様式(A4版)に
なり作成してください。
2. 研究業績のない場合は、「なし」と記入してください。
3. 記入欄が不足する場合は、適宜、別紙(A4版)等により作成し、追加してください。

(様式E)

研究・職務内容証明書

氏 名

生年月日 昭和・平成 年 月 日生

上記の者が、下記のとおり研究又は職務に従事したことを証明します。

記

研究又は職務に従事した機関、部局及び身分	
研究又は職務に従事した期間	年 月～ 年 月(年 か月)
研究又は職務の内容	

平成 年 月 日

所在地

機関名

機関の長

印

検定料振込依頼書

記入要領等

- ご依頼日欄 : 振込年月日を記入してください。
- 振込先欄 : 山陰合同銀行鳥取営業部又は鳥取銀行湖山支店のどちらかを選択の印を付けてください。
- ご依頼人欄 : 受験者本人の氏名(カナ欄及び漢字欄)を、丁寧に記入してください。
- : 住所欄は、郵便番号及び電話番号もご記入願います。
- ※ 第1回の試験出願者は、平成30年 7月 3日(火)～ 7月12日(木)まで
- ※ 第2回の試験出願者は、平成30年11月 6日(火)～11月14日(水)までの期間に振込みをお願いします。
- ※ ATMは利用しないでください。また、手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。
- ※ 現在、本学大学院医学系研究科修士課程または博士前期課程在学中の者は検定料の振り込みは不要です。

※ 裏の切り取り線から切り離して使用してください。

**出願の際は、必ず募集要項をお取り寄せ
いただき、添付されている指定用紙を使用**

電信扱

ご依頼日	平成 年 月 日	電信扱	手数料	平成 年 月 日
振込先	山陰合同銀行 鳥取営業部 普通 3908393	金額	¥ 3 0 0 0 0 0	
	鳥取銀行 湖山支店 普通 0045136			
受取人	コリッダイガクホウジン トトリダイガク 国立大学法人 鳥取大学	内訳		
ご依頼人	※ 金融機関様へ 必ず依頼人の研究科コード及び氏名(カナ)を打電してください。	収納印または振替印		
	研究科コード 20 氏名(カナ)			
	氏名(漢字)			
	(住所) 〒			
	(電話) () -			

切り離さないでください

金額	3 0 0 0 0 0				
振込先	山陰合同銀行鳥取営業部 普通 3908393	受取人	国立大学法人 鳥取大学 鳥取市湖山町南4-101 (電話) 0857-31-5029		
	鳥取銀行湖山支店 普通 0045136				
ご依頼人	氏名(カナ)				
	氏名(漢字)				
入試区分	平成30・31年度 鳥取大学大学院 医学系研究科入学試験				
手数料 (消費税込み)	円				
上記金額正に受取りました。					
(取扱店) _____ 銀行	収印	入紙			
_____ 店					

切り離さないでください

金額	3 0 0 0 0 0				
振込先	山陰合同銀行鳥取営業部 普通 3908393	受取人	国立大学法人 鳥取大学 鳥取市湖山町南4-101 (電話) 0857-31-5029		
	鳥取銀行湖山支店 普通 0045136				
ご依頼人	氏名(カナ)				
	氏名(漢字)				
入試区分	平成30・31年度 鳥取大学大学院 医学系研究科入学試験				
※ 本票は、貼付台紙に貼り付けし、大学へ提出してください。					
(取扱店) _____ 銀行					
_____ 店					

検定料振込済証明書(大学提出用)
貼付台紙

本